

第 2 期  
幸区区民会議 専門部会 A  
安全・安心・生きがい部会  
地域防犯活動の推進  
自転車通行のマナー向上



## 1 部会の検討経過

第 5 回 10月1日(木)開催

「地域防犯活動の推進」

あいさつ運動の具体的取り組みの検討

「自転車通行のマナー向上」

区や市の現状等について把握

意見交換



- 第6回 11月12日(木)開催  
「自転車通行のマナー向上」
- ・歩行者・自転車の安全な通行環境の  
社会実験(川崎駅東口周辺)視察
  - ・意見交換



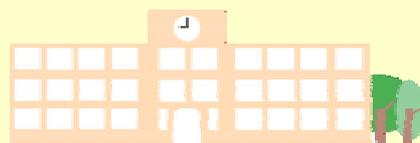
## 2 部会の検討内容



## 幸区あいさつ運動アクションプラン案

### 既存の活動との連携・協働の推進

- ・ 社会を明るくする運動や幸区保護司会等
- ・ 県「あいさつ一新運動」
- ・ 県「かながわ安全・安心まちづくり標語コンクール」
- ・ 塚越中学校区地域教育会議「ひと声あいさつ運動標語」などの、地域の活動



## 幸区あいさつ運動アクションプラン案

### 7月を強化月間に

- ・ 社会を明るくする運動や県「あいさつ一新運動」の強化月間
- ・ 区民会議や関係団体も連携して、商店街等各団体への働きかけや運動への参加を行う



## 幸区あいさつ運動アクションプラン案

### 地域の活動との連携

- ・ 県の標語コンクールや、地域の標語募集等との連携

あいさつに関する  
掲示板や立て看板



## 幸区あいさつ運動アクションプラン案

### 各種広報媒体の活用

- ・ 市政だより、ポスター等
- ・ 町内会掲示板等、関係団体の協力を得る。



## 自転車通行のマナー向上

### 幸区の自転車通行マナーの現状

区民アンケートでの地域の課題で、  
「自転車利用のマナーが悪い」が1位  
区内交通事故の35%に自転車が絡む  
(自転車事故多発地区に指定)  
交通安全教室や啓発キャンペーンの開催  
小学校3年生は必須の交通安全教室  
警察による「自転車安全利用五則」

## 自転車通行のマナー向上

### 課題

「自転車 = 車両の一種」であり、車両として交通法規を守らなければならないという意識が低い

大人世代のマナーが悪い



## 自転車通行のマナー向上

### 課題

重大な加害事故を起こす危険性の認識が薄い

( 実例 )

携帯電話に気を取られ無灯火自転車で歩行者に衝突、後遺障害 損害賠償5,000万円

TSマーク(賠償責任保険)が普及していない

TSマーク



## 自転車通行のマナー向上

### 川崎駅東口周辺 社会実験視察結果

自転車と歩行者混在しない環境は安心して通行できる

違法駐輪がない空間は通行しやすい

歩行者の視点、自転車の視点の違い



## 自転車通行のマナー向上

### 目指すべき方向性

- 「自転車 = 車両の一種」との認識を広める
- 特に大人をターゲットとする
- 自転車が重大な加害事故を起こす危険性が高い乗り物であることを知ってもらう
- T Sマーク（賠償責任保険）を普及させる



## 自転車通行のマナー向上

### 解決方策

- 大人世代の自転車利用者に対する働きかけの強化
- ・自転車が引き起こした重大な加害事故の実例を知ってもらい、ルール・マナー遵守の大切さを訴える
- ・自転車購入時に啓発資料を渡す
- ・インパクトのある広報の展開 など